

「第3回板橋区消防団運営委員会」会議録

I 開催日時・場所

令和5年2月7日(火)資料発送
書面会議にて実施

II 委員構成

1 委員長

坂本健（区長）

2 委員（敬称略）

かまた悦子（都議会議員）、松田やすまさ（都議会議員）、とくとめ道信（都議会議員）、宮瀬英治（都議会議員）、坂本あずまお（区議会議員）、かいべとも子（区議会副議長）、川口雅敏（区議会議員）、安井一郎（区議会議員）、寺田ひろし（区議会議員）、石川すみえ（区議会議員）、長谷川清美（板橋消防署長）、手塚康長（志村消防署長）、大野治彦（板橋消防団長）、山口彦市（志村消防団長）、榎本進（志村防火防災協会会長）

3 事務局

板橋区危機管理部長、地域防災支援課長

III 議題

諮問事項

「大規模地震発生時における特別区消防団の消火活動能力を向上させる方策はいかにあるべきか」

IV 送付資料

資料1 板橋区消防団運営委員会答申書案

資料2 板橋区消防団運営委員会書面会議意見提出用紙

V 会議概要

1. 課題①について

- ◆ 遠距離送水訓練を可能な場所で行い、実践を通して、次の課題を見つけることが、次のステップに進める大切な手順だと思う。

2. 課題②について

- ◆ 新入団員向けの実践的訓練を重点的に再開すべきと考える。

3. 課題③について

- ◆ 企業や大学等と連携した体験入団や若手消防団員による募集広報の推進が成功することを強く願っている。
- ◆ 大学の授業やゼミ等の中で、消防団の活動と学生の学びの方向性が合致することや、地域貢献として、学生にも活動に参加するメリットが増えるよう、大学側の協力を得られると、よりスムーズに団員確保が進むのではないかと考える。
- ◆ 通学定期代の一部負担や、下宿家賃の一部負担など、学生に対する特典があれば、入団の促進につながると考える。
- ◆ 毎年更新の一年間限定の「サポート団員」のような、ハードルの低い入口を設けるとともに、参加継続の条件などを緩和してほしい。
- ◆ 将来の消防団員となりうる子供たちを含む若年層の育成が必要である。
- ◆ 若い人が興味を持つような魅力的な企画や全国の奏功事例を活用し、募集広報を展開したらどうか。

4. 課題④について

- ◆ 高齢化に対応した新たな資機材の導入には賛成である。

5. まとめについて

- ◆ 大規模地震発生時における消防団の役割は大変重要であり、そのためにも消防団員充足率を上げることは欠かせない。組織の活性化の具体的施策について検討する必要がある。

6. 全般に対する意見等について

- ◆ 基本的にどの項目についても賛同する。
- ◆ 本答申案に賛成である。
- ◆ 諮問事項に関して、概ね現場課題を補う内容となっており、今後計画通り推進されることが望まれる。
- ◆ 特別区消防団の地域性・所属団体の属性を踏まえた内容に落とし込めるよう、各地域の関係部署と連携を深め、その地域に特化した実践訓練等も必要になってくると考える。
- ◆ デジタル環境のさらなる活用を促しながら、人員確保に向けた取り組みが急がれる。

VI 今後の予定について

今回お寄せいただいた意見を取りまとめ、答申を作成し、東京都知事に回答する。

VII 所管課

板橋区危機管理部地域防災支援課